

# 青梅市の現状・懇談会での意見を踏まえた、青梅市の「強み」と「弱み」まとめ

○強み○	×	弱み×
●環境 東京圏なのに自然豊か	⇔	都会的な街並みではない
●アクセス 自然があるのに都心まで電車で1時間	⇔	運行本数が少なく日常使いの公共交通が不便
●すまい 手頃な戸建住宅が多い値段の割に広い	⇔	画一的な建て売り住宅が多い
●空き家 市街地に集中する空き家	⇔	市街化調整区域に点在する空き家
●文化 歴史・文化	⇔	真新しさに欠ける
●観光 日帰り客が多い	⇔	宿泊に繋がりづらい
●つながり 地域コミュニティが結束	⇔	溶け込みづらさ
●情報 地元の人のみを知る隠れた地域資源がある	⇔	情報発信力が弱い
●教育 自然や地域資源を生かしたユニークな教育	⇔	先進的な教育(語学・IT)
●社会インフラ 医療・福祉環境が整っている	⇔	大学がない
●仕事 技術力のある中小企業がある	⇔	大企業が少ない
●林業 森林がある	⇔	林業従事者が少ない
●農業 農地がある	⇔	農地近くのすまいが不足している

## 強みにマッチする移住希望者（ターゲット候補）のニーズ

コロナ禍の今、感染状況も深刻な都会での暮らしのままでいいのかな。人込みから離れ、自然に囲まれた場所で思いっきり空気を吸いたい。

コロナ禍だし、仕事はテレワーク。都心じゃなくても大丈夫。でも、これまでの生活をガラリと一変させたくはない。いざというときにはすぐに都心に出られ、そこそこ便利な地区での暮らし。手ごろな値段で、しかも値段の割に広い住宅を購入したいな。空き家を買って、DIYで自分仕様にリフォームしてのびのび暮らしたい。

コロナ禍で生活が一変し、便利さとか流行り重視のこれまでの生活に疲れた。古き良き歴史や文化に触れて、ライフスタイルを深いものにしたい。週末には、地方に泊りがけで行かなくても、気軽に自然を体験したい。

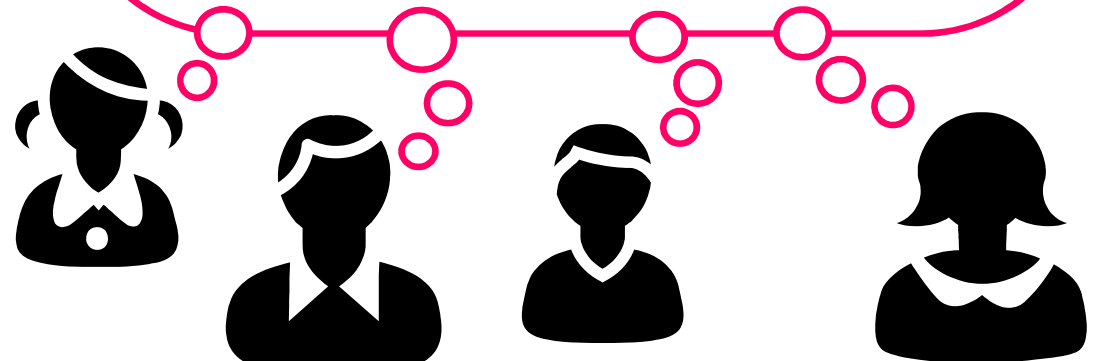
コロナ禍で他人との接触する機会が減っている今だからこそ、改めて「人とのつながり」が大切だと感じている。子どもの心を学校以外で育むにも、家族以外のいろんな人との交流が大切。

自然に囲まれたユニークな学校教育で、子どもをのびのびと育てたい。

体調が悪い時や老後も安心して暮らしたい。

地元の優良企業で、安定して働きたい。

農業を始めたいが、いわゆる田舎生活はしたくない。休日には農業から離れて、いままでどおり「まち」での生活が送りたい。



## 青梅市の強み・弱みを踏まえ、ターゲットをどう設定するか

青梅市の転入・転出状況から…

- 単身世帯（特に若年層）で見られた転出超過を挽回する
- 二世帯・家族世帯の転入超過を一層促す
- すべてに対し訴えかける

弱点克服型

舍短取長型

助長補短型

☆ターゲットを幅広く定めると、プランの方針があいまいになり、施策の訴求力が弱まり、どの層にも響かないものに。

⇒ 青梅の「弱み」である「電車等の運行本数が少ない」「大学がない」「大企業がない」などの理由で青梅を離れてしまう、単身世帯については、あえてターゲットにしない。

青梅の「強み」である「東京圏なのに自然豊か」「手ごろな住宅価格」などに惹かれてやってくる二世帯・家族世帯をターゲットとして設定する。

☆二世帯・家族世帯に絞っても、いろんなバックグラウンド（職業・趣味etc…）をもった方がいる。

施策により実効性を持たせるために、ターゲットの設定をより詳細に作り上げ、そのニーズを深掘りし、具体的な架空の人物像「ペルソナ」の設定を行う。

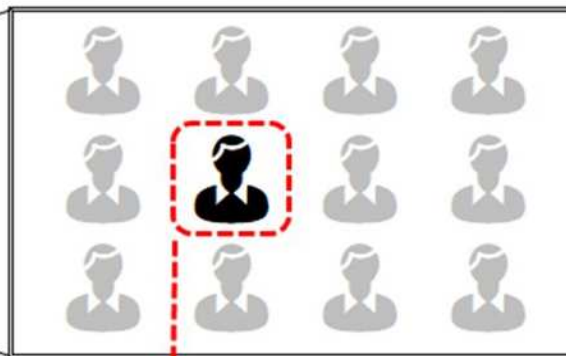
### ★ターゲット

年齢や性別、属性などの大きなくくりで、狙いとする対象をグルーピングしたもの

20代 未婚男性	30代 未婚男性	40代 未婚男性	50代 未婚男性	60代 未婚男性
20代 既婚男性	30代 既婚男性	40代 既婚男性	50代 既婚男性	60代 既婚男性
20代 未婚女性	30代 未婚女性	40代 未婚女性	50代 未婚女性	60代 未婚女性
20代 既婚女性	30代 既婚女性	40代 既婚女性	50代 既婚女性	60代 既婚女性

### ★ペルソナ

属性だけの「ターゲット」ではなく、趣味や嗜好、行動パターンまで設定したもの



小村 和樹/福井県福井市在住/45歳/既婚/  
年収620万円/会社員（メーカー勤務）/趣味は釣り…